

Priscilla Valentin Notodihardjo 氏 学位審査結果の要旨

主査：中邨 智之

副査：野村 昌作、権 雅憲

多血小板血漿（Platelet-rich plasma, PRP）は血管新生活性をもつサイトカインをはじめとする多くの生理活性物質を含んでおり、患者本人から比較的容易に採取できることから、創傷治癒促進や美容の目的で臨床応用されてきている。しかし頻回にPRPを採取し注射することは患者にも負担が大きいことから、本研究ではゼラチンハイドロゲルを用いた血小板放出物（Platelet-rich plasma releasate, PRPr）の徐放化がマウス創傷治癒モデルにどのような効果をもたらすかを検討した。PRPr含浸ゼラチンハイドロゲルはPRPr単回投与やゼラチンハイドロゲル単独貼付の場合と比べて有意に拘縮を抑制し、再上皮化と血管新生を促進した。本研究は徐放化PRPrが創傷治癒を早めるという臨床へ応用しやすい成果を示したものであり、学位に値する。